

すぎもと あおい

杉本 葵 氏 (国民民主党)

質問11 上記1～10までの質問に関連して補足のご意見がありましたら、お聞かせください。

回答 ※記述のあった項目のみを掲載しています。

[質問10] 膨張し続ける軍事費の拡大をやめること

反対です。

ロシアによるウクライナ侵略により国際秩序が根底から覆される危機にさらされる中、中国の急速な軍備拡大、頻繁な領海侵犯、北朝鮮による我が国周辺への度重なるミサイルの発射やロシアによる北方領土への新型ミサイル配備等、我が国を取り巻く安全保障は厳しさをましています。このような厳しい安全保障環境を踏まえつつ、「戦争を始めさせない抑止力」の強化と「自衛のための攻撃力」を保持します。激変する安全保障環境に対応するため、日米安保体制をさらに安定的に強固なものにしていくことは、日本の安全のみならず、アジア太平洋地域の平和と安定にとって不可欠です。

日本の外交・安全保障の基軸である日米同盟を堅持・強化しつつも、米国に過度に依存し過ぎている日本の防衛体制を見直し、「自分の国は自分で守る」ことを安全保障政策の基本に据え必要な取り組みを行って参ります。

質問12 上記までの質問の事項に限らず、おもに医療・社会保障等についての貴台のご政見を自由に記述いただくご回答も承ります。

回答

・「給料・年金が上がる経済」を実現するために

介護職員、看護師、保育士等の給料倍増を目指します。特に、公定価格が給料決定に影響を及ぼす介護職員、看護師、保育士等の方々については10年で地域の実情を勘案しつつ給料を2倍にするとともに、地域手当の見直しを行います。

・また、現役世代・次世代の負担適正化と医療・介護の質の向上を両立させる社会保障制度の確立を目指すため

- ① 年齢ではなく能力に応じた負担
- ② 高齢者医療制度への公費投入増
- ③ 科学的根拠に基づいた保険給付範囲の見直し
- ④ 医療提供制度の充実、医療の質と効率の改善
- ⑤ 終末期医療の見直し

などをおこなってまいります。